

区 の 補 助 計 画 等 の ま と め	1 生涯学習分野の政策課題	2 課題解決に向けた施策の方向性
	<p>(1) 多種多様な区民の要望に対応していくため、行政と民間事業者との役割分担による事業運営の必要がある。</p> <p>(2) 学習成果や知識を地域に還元することが更に自分たちの学習を豊かにするものであることへの理解を深めることが求められている。</p> <p>(3) 家庭教育支援では、時代とともに変化している保護者のニーズや興味に、より柔軟に対応した事業が求められている。</p> <p>(4) 子どもたちの安全・安心な居場所の確保と、地域の人材を活用した子どもたちの体験機会の提供のために、放課後子ども対策課と連携、協力して放課後子ども総合プランを推進していく必要がある。</p> <p>(5) 図書館基本方針において掲げている5つの目指す方向性を様々な施策の展開により実現していく必要がある。</p> <p>(6) 近年、土地の再開発や道路整備が進む中で、特に指定や登録を受けていない文化財については失われやすく、保護していく必要がある。</p>	<p>【5年後・10年後】</p> <p>(1) 区民のニーズに対応した多様な学習機会を提供していく。</p> <p>(2) 区民の学習成果を活用した学習機会を提供していく。</p> <p>(3) 保護者の状況に応じた家庭教育を支援していく。</p> <p>(4) 子どもたちの安全な居場所の提供や地域人材を活用した子どもたちの体験機会の提供と、家庭、学校、地域が連携して子どもを育成していく。</p> <p>(5) 図書館について、地域の情報拠点として、また、人々の交流の場としての役割を一層発展させ、多様な組織と連携しながら、区民・利用者のライフステージに即した質の高いサービスを提供していく。</p> <p>(6) 区内の文化財を良好な状態で次世代に継承するとともに、歴史資料館を拠点とし、区民に郷土学習の機会を積極的に提供していく。</p>



審 議 会 ま と め	3 審議会での主な意見	
	<p>○ 生涯学習は区が主導するだけではなく、民間団体が実施している生涯学習を区が支援することも重要である。</p> <p>○ 知識、経験を生かして地域活動をしたいと思える状況や環境を整備していく必要がある。</p> <p>○ 区内の大学施設や人材をもっと有効的に活用していくべきである。</p> <p>○ 子どもの頃からの保護者のしつけを含む家庭内の教育はとても重要な要素なので、保護者の状況に応じた家庭教育を支援し、充実した取組にしてもらいたい。</p> <p>○ 民間団体と連携することで、もっと目黒区の特色を踏まえた文化継承ができるのではないかと。</p> <p>○ 日本文化や目黒区の特色について、大人だけでなく子どもに向けても、もっと情報発信していくべきである。</p>	
	4 生涯学習分野の概ね20年後の区の将来像やあるべき姿【キーワード】	
	<p>○ 区民ニーズを捉えた多様な学習機会の提供</p> <p>○ 学習成果を地域で活用することができる仕組み(地域に学び地域に生かす仕組み)の構築</p> <p>○ 社会状況の変化や個々の家庭環境に対応した家庭教育支援の充実</p> <p>○ 官民の連携協力による生涯学習環境の充実</p> <p>○ 区民・利用者のライフステージに即した質の高い図書館サービスの提供</p> <p>○ 次世代への文化財の継承と郷土学習機会の更なる充実</p>	